

No.50 平成30年7月1日 磐田市立図書館 電話 32-5254 (中央)
ホームページアドレス <http://www.lib-iwata-shizuoka.jp/>9月12日は
うちゅうの日
です。

うちゅう



むかし^{ひと}の人は、空を見上げて、天と地^{てん ち}をかけめぐる神様が^{かみさま}出てくる神話を^{しんわ}想^{そう}ぞうし、星^{ほし}をかんさつしてふしぎに^{おも}思ったことを^{けんきゅう}研究しました。今回は^{こんかい}人^{じん}るいのうちゅうへの^{おも}思いにあふれた本^{ほん}をしょうかいします。



『はじめてのギリシア神話』

尾高 薫／文 堀川 理万子／絵 (徳間書店)



ある日、神^{かみ}がみの王^{おう}ゼウスは、地上^{ちじょう}に生き物^{い もの}をつくり神^{かみ}がみからの^わおくりものを^{めい}分けあたえるようにプロメテウスに命^{めい}じました。

プロメテウスの^{おとうと}弟のエピメテウスが動物^{どうぶつ}をつくり、鳥^{とり}にはつばさ、ライオンには^はするどい歯^{かみ}というように、神^{かみ}がみからの^わおくりものをさずけていきました。

プロメテウスが大地^{だいち}の土^{つち}と水^{みず}で、ていねいに人間^{にんげん}をつくり^お終えた時^{とき}には、おくりものは、もうひとつものこっていませんでした。人間^{にんげん}を^き気のどくに^{おも}思ったプロメテウスは、このあとどうするでしょうか。



『ちきゅう』

G・ブライアン・カラス／さく・え
庄司 太一／やく
(偕成社)

毎日^{まいにち}、夜^{よる}が来るのはなぜでしょう？地球^{ちきゅう}とうちゅうの^{しくみ}仕組みがわかりやすく書^かかれています。

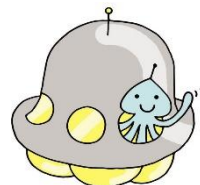
『せいめいのれきし 改訂版』

ちきゅうじょう
地球上^{ちきゅうじょう}にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし
バージニア・リー・バートン／文・絵 いい ももこ／訳
まなべ まこと／監修
(岩波書店)

おおむかし、わたしたちにとって大切な太陽^{たいよう}が「銀^{ぎん}がけい」にたん生^{しょう}しました。生命^{せいめい}のれきしの^あまく開^あけです。



ほん うちゅうの本



もしきみが月だったら
ローラ・パーディ・サラス／文
ジェイミー・キム／絵
木坂 涼／訳
(光村教育図書)

お月さまは、なぜ夜空にうかんでいるのかな？
どうして毎日、形が変わるのかな？
「もし、きみが月だったら」と、分かりやすい
たとえで教えてくれる、かぐく絵本。



えほんねむ うちゅう
・絵本眠れなくなる宇宙の
はなし
えほんねむ うちゅう
・絵本眠れなくなる宇宙と
いのちのはなし
佐藤 勝彦／作
長崎 訓子／絵
(講談社)



うちゅう ゆめ ちから
宇宙への夢、力いっぱい!
若田 光一／著
高橋 うらら／著
(PHP 研究所)



つき み えほん
月の満ちかけ絵本
大枝 史郎／文
佐藤 みき／絵
(あすなろ書房)

月が空をひとめぐりするのにかかる時間はいつも同じ。
だから、むかしの人は月をカレンダーにして生活していま
した。月の見えない1日目(新月)から毎日形をかえてい
く、月の満ちかけのひみつをさがります。空を見上げてみ
ましょう。今日は何日目の月かな？



・Doritru先生月へゆく
・Doritru先生月から帰る
・Doritru先生と月からの使い

ヒュー・ロフティング／作
井伏 鱒二／訳
(岩波書店)

☆Doritru先生のシリーズは全部で13冊あります。



ほし ししや
星の使者 ガリレオ ガリレイ
ピーター・シス／文・絵
原田 勝／訳
(徳間書店)

地球のまわりを太陽も月もそのほかの星もまわっていると
しじられていた時代に「地球が動いている」と、となえたガリ
レオ・ガリレイ。自分の考えを曲げず、自分の目で見たことをし
んじ、息をひきとるその日までひとびとにつたえつづけました。
ひとみに星をきらめかせた人でした。